

動画最前線 2017

2017年8月10日 神村 幸子

日本の商業アニメーション業界において、新人アニメーターが最初に担当する職種である動画と、それを教える動画検査について、十分なキャリアのある動画検査5名をはじめとする各職に対して聞き取り調査をおこない、おもな意見をレポートにまとめた。

2017年現在、東京で生活していくことを前提にした場合、動画では生活できる収入を得られないが、動画検査は生活できる十分な収入を得られる、という明確な違いが発生するため、それぞれについては分けて記した。

目 次

1・動画について

- (1) 動画1枚あたりの単価
- (2) スケジュール
- (3) 雇用形態と待遇
- (4) 月産枚数
- (5) テレビシリーズ作品の動画枚数
- (6) 動画職は生活できるか
- (7) 動画の個人出し（フリー）はあるか
- (8) 地方に帰って自宅で動画できるか
- (9) 動画のカムバックは可能か

2・動画検査について

- (1) 動検になるには
- (2) 動検のギャラ
- (3) 雇用形態と待遇
- (4) 動検の仕事量
- (5) 海外出しの動画は、動検を通っていない

3・新人育成について

- (1) 新人動画育成システム
- (2) 新人アニメーター用の寮

4・海外出しについて

- (1) 海外動画
- (2) 電送

5・デジタル動画について

- (1) デジタル動画の現状と今後
- (2) 遠方での個人デジタル動画
- (3) デジタル動検

6・業界の問題点

- (1) ラッシュリテイク
- (2) アニメ産業はブラックか
- (3) 動画はお金がもらえるような仕事ではないという認識

1・動画について

(1) 動画1枚あたりの単価

- ・いま動画単価は数年前より値下がり傾向にあり、元請けから出てくる値段が1枚200円くらい。
- ・動画の単価が下がってきているのは、テレビシリーズの動画枚数が増えたため、単純に動画費を枚数で割っているためなのではないか。
- ・テレビの国内元請けからの動画が1枚180円、190円というものも出てきた。
- ・「銀魂」は1枚230円だったものがいま220円に下がっている。
- ・線が多くなってきていて、ちょっと前よりさらに枚数が上がらなくなってきているのに、単価が下がる意味がわからない。
- ・シリーズの「ポケモン」が170円が出ていた。元請け値段ではないと思うが。
- ・シリーズはほぼ220円～230円くらいだと思う。
- ・シリーズで210円～250円という感じだと思う。DVD用劇場作品は250円～300円という単価設定。
- ・本来の劇場用で1枚280円～350円だが、350円はかなりいいほう。
- ・以前、劇場用は1枚400円～450円がふつうに出ていたから、かなり下がった印象がある。
- ・最近、ジブリの劇場用が600円だった。

(2) スケジュール

- ・劇場用はだいたい1週間ある。テレビは2～3日が多い。テレビでも宅急便組は1週間取れるものを出している。
- ・劇場用作品は、INからUPまでだいたい1週間くらいある。最後のほうはそうもいかないが。
- ・シリーズも放映前なら1週間くらいくれるが、放映が始まると、今日の昼INで、明日、動画から仕上までUPでほしいといわれる。

(3) 雇用形態と待遇

- ・動画が固定給のところはまずないと思う。3ヶ月とか半年とか、1年間までとかなら月15万円出してくれる会社はある。
- ・新人アニメーター育成に力を入れている会社だと、出来高にプラスして生活補助費を出したりして、なんとか食べていかれるようにしてくれる会社はある。IGとかボンズも。
- ・いまいる会社だと、社内動画は1枚150円で、毎月それにプラスして3万円の補助費が付く。3万円は少ないのだが、以前月6万円の補助を出していたとき、なぜかあまり枚数を上げなくなったという経緯があったため3万円になった。かねあいがむずかしいと感じている。
- ・アニメーターは固定給にすると、如実に作業量が落ちる傾向がある。これは昔からそう。急がなくなるのだと思う。

- ・最近つぶれた会社が、労働基準監督署からの行政指導で、アニメーターを全員出来高から固定給（東京都の最低賃金）にしたとき、いきなり作業量が30%減ったと聞いた。つぶれたのはそれが理由ではないけれど。
- ・社内の作画は定時が10時～19時となっていて、毎週土日は休ませる。
- ・うちの会社が生活補助費などのめんどうを見られる上限は、毎年新人アニメーター30名まで。
- ・サンライズはスタジオごとに数名の新人。スタジオごとに待遇が違うと聞いた。
- ・いまいる会社は、出来高+5～6万円の生活補助費が3ヶ月付くと思う。

（４）月産枚数

- ・動画は1年目で200枚/月。これはがんばった子。少なめの子は150枚/月くらい。おおむね200枚前後/月だと思う。3年目に入って300枚/月になる感じ。
- ・いまは月300枚くらいが一般的だと思う。大きな会社だと、社内の動画は同じ作品を担当することができるので枚数はもっと上がる。
- ・「クレヨンしんちゃん」など非常に線の少ない仕事を新人動画に回して、枚数ができるように調整している部分もある。
- ・「チェインクロニクル3」の動画は2～300枚/月しかできない。

（５）テレビシリーズ作品の動画枚数

- ・テレビシリーズの動画枚数はふつうで1本5000枚くらい。キャラ物といわれる細かい絵で動かないものでも4000枚くらいかかっている。
- ・1本あたり、3500～4000枚くらいでやっている。
- ・原画のクオリティと関係のない1K打ちが多用されていたり、同セル書き込みはまずないしで、画面でたいして動いていなくても動画枚数は多め。この「動いている」感覚は、セル時代とはかなり違うはず。
- ・セル重ねがいくらでもできるから、あえて同セルにする必要がないのだと思うが、動画単価を考えるとすべて別セルでいいと思う。

（６）動画職は生活できるか

- ・完全出来高制の場合、2年間は生活できない。
- ・3年目に入って300枚/月になるため、200円×300枚＝6万円。それに補助がつき、動画検査もできるようになれば、なんとか食べて行かれる。動画だけではおそらく無理で、動画検査をすることで生活できる金額になると思う。
- ・動画検査ができるようになるまでの2年間は、絶対に動画だけでは食べていけないため、1年間の不足生活費50万円×2年間の仕送りをしてもらう必要がある。
- ・動画の仕事が好きで、動画で生活したいなら、動画検査ができることが必須。
- ・おそらく動画は1年後の収入が月6～7万円だと思う。
- ・自分は代々木のとき学校へ行かずにアルバイトでお金を貯めてあったので何とかあったが、それがなければ食べていけない期間の2年間はもたなかったと思う。
- ・代々木は学校ではないから行かなくても困らないが、大学は卒業してもらいたい。

- ・最近積極的に仕送りしてくれる親もいる。好きな道を行かせたいと仕送りしてくれる。でもそういう子は安心していいのかちょっと根性がたりない感じはする。好きなことしかしなかったり、なおしてやってもその線を拾わずに、全然違うキャラで描いてきたり、びっくりするくらい頑固な子も。

(7) 動画の個人出し（フリー）はあるか

- ・わたし自身の身分はフリーだが、ずっとおなじ会社に机がある。スタジオ内で仕事をしているのを個人と叫ばないなら、個人の動画はいないといっている。
- ・ある制作会社は、以前社内にいた動画で会社を辞めた人を複数、社外動画としてかかえている。自分で会社に原画を取りに来て、上がったら持ってきてくれるのが決まり。過去の信頼があるので個人にも出せる。

(8) 地方に帰って自宅で動画できるか

- ・自分は介護で家にいたときも、動画の仕事を受けていた。名指しで来る仕事だけは受けようとしていた。動画の仕事で二桁くらいは収入があった。ただ、ライトボックスで目が疲れた。
- ・LEDを使うといい。だいぶ楽です。
- ・家でも動画ができたのは会社に近かったからで、名指しの仕事だからできたのだと思う。地方へ少量の動画を個人出しすることはまず考えられない。宅急便代のほうが動画料より高く付く。

(9) 動画のカムバックは可能か

- ・動画は諸事情で仕事を離れた後に、復帰できる可能性は充分あると思う。
- ・経験者の動画をほしがる会社は多いので、すぐやめたとかではなく、数年きちんとやった人なら入れてくれる会社はいくらでもあると思う。各社の制作に「この人はいい動画をする」と知られているくらいのスキルがあれば、問題なく業界へ戻ってこられる。
- ・また動画検査の経験者ならほしがる会社は多いので、いつでも戻ってこられる。

2・動画検査について

(1) 動検になるには

- ・動画検査になるのは、動画を2年くらいしてからでないとむずかしい。
- ・1年動画を経験した状態で、月産枚数が200～300程度なので、1年後に動画としてオールOKとはならない経験値しかない。一般的には経験1年だと動画検査補佐になれるくらい。
- ・小さい会社は動画1年で原画にしてしまうため、動画は毎年新人しかおらず、うまい動画が存在しない。そういうふうにつくと当然、動画検査もできないし、経験もないということになる。

(2) 動検のギャラ

- ・テレビの製作費は、元請けで 1000 万を切っている作品はないと思われる。一般的には 1 本 1200 ～ 1600 万円くらいなのではないか。グロスで下請け会社へ出る場合は 1 本 600 ～ 700 万円という値段も聞く。その中で動画検査料はテレビで 1 本 7 万～ 10 万円くらい。
- ・シリーズの動検料は 1 本 6 ～ 8 万円。基本 8 万円くらいが多いと思う。
- ・「銀魂」が 7 万、「コードギアス」が 10 万。
- ・シリーズではいちばんギャがいいのは 12 万円だった。
- ・「ガールズ&パンツァー」は 9 ～ 10 万円。
- ・名ばかり劇場は動検 1 本 10 万だった。かなり重い劇場用は動検料が毎月 30 万だった。
- ・動画、原画のサイズは劇場用もテレビも変わらない
- ・年収でいうと、テレビだけの場合で 300 万～ 400 万円というところだと思う。
- ・劇場用が入ると 400 万～ 500 万円になる。
- ・毎年平均して年収 500 万円くらいだと思う。

(3) 雇用形態と待遇

- ・動検の経験者はどこもほしがっていると思う。専属契約が多いと思う。
- ・スタジオの中において半ば専属のようなフリーはいるが、完全にフリーの動検はあまりいないと思う。
- ・フリーの動検は社内に入ってもらいたいと声をかけられる。
- ・いま、フリーの動検は制作会社に引っ張られている。制作会社が動検の必要性を感じてきているのではないかと思う。
- ・制作会社が感じている動検の必要性は、動検によるクオリティのアップや維持ということではおそくない。動検がないことによって起こるリメイクが大量に発生したためのコストが動検を置くことで押さえられ、かえって動検料を払った方がお得だという状況のせいだと思う。
- ・社内に動検を置く意味が、本来の動画検査ではなく、単純にリメイク要員として使うためという会社もある。

(4) 動検の仕事量

- ・動検を持っているときは週 7 日出勤。仕事時間は毎日、午後から深夜までの 9 時間くらい。出勤が午後になるのは、動画上がりはその時間にくるから。
- ・動検をするときは週 7 で会社へ行く。でも動検の仕事がひまなときは何日か行かない。仕事があるかどうか、制作からメールで連絡がある。
- ・通勤時間が長いのだが、電車内で寝ているので、毎日休みなしでもいける。
- ・動検として食べていくために、動検 1 本 8 万+動画をしたりする。
- ・動検 4 本/月で取ったりしている。
動画 100 枚+2 原 (2,000 円) × 30 カットということも。
- ・動検料は劇場用だと 30 万円/月くらい出るが、基本的にはシリーズを数本掛け持ちす

ることになる。

- ・動検料には動画注意事項を作ることも含まれる。テレビなら、だいたいのところは同じなので、以前作ったものを使える部分は使う。
- ・動画注意事項に書いてないことはリメイクしても、「やらない」と返されてくる。なので、忘れのないよう、ひととおり書き込んでおかなければならない。
- ・数ヶ月かかる DVD など、動検料は1作品 25 ～ 30 万円。1作品 60 万円というのがあったとき、最初の数ヶ月はほとんど動検仕事がなく、ほかの仕事をするしかなかった。期間の長いものはだいたいそうなので、最後にその作品に集中して動検し 60 万円はいいと思った。
- ・あるていどの期間にギュッとまとまって来るほうが、やる気も出るよね。
- ・35 歳までは無理ができる。1ヶ月に何本もの動画検査を掛け持ちしたこともある。しかし、それ以上の年齢になると体力的にきびしくなる。
- ・40 歳代になり、週末は休むなど、体調管理に気をつけるようになった。

(5) 海外出しの動画は、動検を通っていない

- ・動検に必要なのは、正しいところであきらめられるかどうか、の判断だと思う。
- ・シリーズは海外出しが多く、2000 枚のセルのうち、動検は 500 枚しか見ていないということがよくある。
- ・動検で中国へ出て行くものに関しては、動検の頭を飛び越えていってしまうため、動検にできる作業はあまりない。せいぜい、中国へ出る前につめ指示を書き込んだりするていど。
- ・海外動仕あがり動検が見ていないので、動画のミスで塗れない部分もセル検で見られている。結局ラッシュで動検みたいになっている現状がある。

3・新人育成について

(1) 新人動画育成システム

- ・一覧表にあるように、22 種類の課題を作って、それぞれひととおり経験してもらう。
- ・研修時に経験しておかないと、2年たっても一度も回ってこない内容のカットがあって、そのときに困るので。
- ・クリーンアップから始めて、合成まで研修したら本番に入り、エフェクトからは動画をしながら宿題的に課題を教えるようにしている。
- ・本番に入れるまでだいたい1ヶ月間かかる。以前はもっとかかっていたが、入社前の2～3ヶ月間にクリーンアップについては課題を添削して教えることで、入社後の研修が短くなった。
- ・他社から来た経験の浅い動画にも、やったことのないものは経験しておくといよいよと研修をすすめている。いま1年間で経験できる動画の量が少ないので、他社から来た動画も「やったことない」とけっこういろいろの課題を持っていった。
- ・「よい動画」になってほしいと考えている。いまはすぐ2原にしてしまうので、よい

動画が少ないと思う。

- ・いま国内の動画はさらに減ってきている。動画がすぐ2原をさせられているからだ。
- ・原画になるのはいいとして、2原なんて、する意味があるのだろうか。2原をするくらいなら動画をしたほうがよいといっている人もいるが。
- ・ウィットスタジオは新人に動画をやらせるのをやめて、2原からやらせることにしたと聞いた。
- ・そういうシステムの会社は以前からある。
- ・動画の仕事がほとんど海外へ出て行くと、国内で動画の仕事がコンスタントに用意できない。だったら2原からでいいという状況もあると思う。
- ・動画育成に力を入れている会社もあるよね。
- ・新人アニメーターには、動画のことだけではなく、年金の仕組みを教えておいてほしい。自分は30歳まで国民年金保険料を払う余力がなく、30歳になってから役所へ行って、支払い免除という方法があることを始めて知った。それとともに5年前からの分をまとめて支払うことになり、たいへんだった。新人がそういうことにならないようにしてあげてほしい。
- ・確定申告をするように教えてほしい。

(2) 新人アニメーター用の寮

- ・都内では安めの物件で、ワンルームの家賃が光熱費含め6万/月くらい。
- ・Wishが2017年4月から、新人アニメーター用にシェアハウスを始めた。2年間入れる。家賃の心配をしないで住めるところがあれば、なんとかやっていけるのではないかと考えたそう。家具、家電付きで1室・月25,000円。
- ・昔は寮のある会社もあった。いまは聞かないが、最初の3年間くらい入れる寮、といってもいまは個室でないとだめだと思うが、そういったシェアハウスの的なものがあるといいと思う。

4・海外出しについて

(1) 海外動画

- ・動画のクオリティを維持したい、動画を国内にもどしたいと考えている。
- ・下請けとして中国に出すことがあるが、一時期と比べて中国のアニメーターは減っている。上手い人はCMやゲームに流れた。
- ・以前は中国の動画工場は24時間の二交代制だったが、いま夜番をいやがる人が増えたため、夜の班はあまり上手くない人が多い。
- ・中国ではアニメーターがもうそれほど儲かる仕事ではなくなってしまっている。
- ・働いて受けることが多いのだが、制作会社から「どうせ全部中国出しでしょ」と言われ、動画220円の作品でも、中国動画値段200円にされてしまう。社内動画が多いので、これはきびしい。

(2) 電送

- ・海外への動画の電送では 200dpi を基準にしている。シートとカット袋もスキャンして送る。
- ・うちでも電送はある。このまえテロップに「電送屋」(※1) と出ていてびっくりした。そんな会社があるんだと。
- ・どの大手制作会社でも、社内で無理な分は海外出しになっている。電送の解像度はわからない。そこまで気にしたことはなかった。

5・デジタル動画について

(1) デジタル動画の現状と今後

- ・社内にデジタル班がある。Stylos で液タブ動画。
- ・動画は Stylos のほうが CLIP STUDIO より使い勝手がいいと思う。
- ・Toon Boom、TVPaint Animation、Stylos などいろいろ使われているが、社外では CLIP STUDIO が多いかもかもしれない。
- ・デジタル動画は、現状では手描きより効率が悪い。
- ・若干、効率がよいといっている会社もある。
- ・動画については、この先 20 年くらいで、アナログとデジタルが半々になる程度ではないか。いまの海外動画価格は 150 円程度なので、海外は PC + 液タブの投資をしないと思う。海外はこの価格では、まだデジタル化は無理。
- ・海外動画のデジタル化が先かかもしれない。
- ・もっと早いデジタル化の予想としては、5 年後に手描き 7 : 3 デジタル、というものもある。
- ・現在、マレーシア、フィリピンはデジタル作画 100 % で動いている。
- ・もし今後デジタル作画で外注出しをする場合、おそらく動画 + 仕上のセットで出すことになるだろう。クリエイターも動画だけではなく、動画から仕上までひとりでおこなうことが求められる可能性はある。
- ・作画が仕上までおこなうことが、効率がよいのかどうかは疑問。仕上の塗りの速さは、専門家ならではの熟練だと思う。
- ・制作的には、小規模の会社へ出す場合、デジタル作画から仕上まで一度で済ませたいので、デジタル動画だけというスタジオは無理ではないか。

(2) 遠方での個人デジタル動画

- ・なんらかの事情で地方へ帰らざるを得なくなった動画が、個人で仕事を続けるためのツールとして、デジタル動画はどうだろう。
- ・個人の PC はファイアーウォールが弱い。データで送る仕事になると、データの流出を防ぐシステムがないと、デジタル作画の外注はむずかしい。
- ・制作としては、遠方の個人個人に動画を頼むのは、スケジュール管理の点から無理。アニメーターはスケジュールを守らないし、連絡もとれないことがある。

- ・アニメーターが自分の SNS で放映前の絵を上げてしまうことがよくある。デジタル動画になったら、それがさらに増えるのではないかと心配。
- ・デジタル動検は遠方の個人でもあり得る。動画検査+動画直しを含めてだが。
- ・ずっと社内にはいた人間が地方へ戻る場合なら、いままでの信頼があるので、地方でデジタル動画は出せると思う。

(3) デジタル動検

- ・CLIP STUDIO で動検することもあるが、動画の人のように大型のタブレットは使わない。紙の動検もするので、棚に入っている液晶ペンタブレットを使っている。
- ・CLIP STUDIO は原画までならいいと思う。
- ・旭プロからの仕事はデジタル動画している。
- ・わたしは全部デジタルになったら、そのときはやめる。紙に描いたほうがおもしろい。それに全部デジタルになるころには引退する年齢になると思うし。

6・業界の問題点

(1) ラッシュリテイク

- ・ラッシュを見ないとリテイクが出せない演出が多い。色つきのラッシュになってから半分リテイクにしたりするので、よけいな経費がかかっていると思う。その分のお金を作画にまわしてほしいと思う。
- ・スケジュール的に海外動仕なので、ラッシュで動検している状態。
- ・ラッシュで演出と作監が何度も巻き直ししながら相談したり、BGonly を監督が延々と悩んだりする場面が増え、シリーズのラッシュに5時間かかるということが珍しくなくなった。その時間、拘束されるのがつらい。
- ・近年、ラッシュチェックに時間がかかるのはよくある。最長8時間ということがあり、アニメーターや仕上がラッシュに行きたがらなくなった。
- ・延々と相談するのは別のところでやってもらえないか。全員の時間を拘束している場所ですることではないと思う。

(2) アニメ産業はブラックか

- ・2017年6月7日(水)放送 NHK クローズアップ現代+ で「2兆円↑アニメ産業 加速する“ブラック労働”」という番組があった。(※2) それを見たが、途中までは現実的だったのに、最後はCGアニメにすれば経費が節減できてアニメーターも生活できるというような結論になっていて、なんだか違うと思った。
- ・個人的にはCGになって、それで新人が食べていかれるようになるなら、全部CGでかまわない。

(3) 動画はお金がもらえるような仕事ではないという認識

- ・けっこう古い記事なんだけど、いまアニメーターの SNS とかで話題になっている「動

画はお金がもらえるような仕事ではない」という認識はどうかと思う。(※3)

- ・あの記事には、アニメーターは全員が怒っていた。
- ・新人1日目から出来高で食べていかれるわけがない。どの仕事でも新人なんて仕事で使えないものでしょ。でも給料を払っている。それが普通だと思う。

※参照先

(※1)

電送屋 ティーエーピー (T A P)

サイト <https://sites.google.com/view/dousi-tap/>

Facebook <https://www.facebook.com/densoya/>

(※2)

NHK クローズアップ現代+

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3987/>

2017年6月7日(水) 放送 NHK クローズアップ現代+
2兆円↑アニメ産業 加速する“ブラック労働”

(※3)

日刊サイゾー 記事「動画マンは安給与で当然!？」

<https://archive.fo/yzfCq>

日本動画協会が行う文化庁の支援事業「アニメ・クリエイター育成ビジョンづくり」。

増田弘道氏（日本動画協会データベース WG 座長／映画専門大学院大学教授）

「職業としての“アニメーター”は“原画”の仕事から。“動画”（原画に中割りを加えて清書した線画）は見習い期間で、本来ならばお金がもらえるような存在ではありません」と発言。